

共同研究の成果を反映

窓のリズムに添う住まい

つくばにコンセプトハウス

唱。それを実現する要素として、季節や時間帯に合わせて心地良い場所を求めて居場所を変える「移ろ居」(スワロイ)「行動を挙げ」

コンセプトハウスは、冷暖房については一般的な空

道を確認。垂直方向では、吹き抜けや、ウィンドチャム

二(風抜き塔)を生かして温度差換気を行う。日射や熱については、緑のカーテンやパーゴラ(植

台、置き畳といった可動家具を用意。階段の段差も腰掛け場として想定した。

同研究会は06年に発足した。室内環境を常に一定に制御することが人間本来の環境適応能力を低下させているのではないかとこの問題意識のもと、ひとの健康と心地よさを両立させる住環境のあり方を研究してきた。

購入者は6割がさいたま

市在住者で、一次取得者が多い。第2期・43棟は9月中旬から販売を始める。

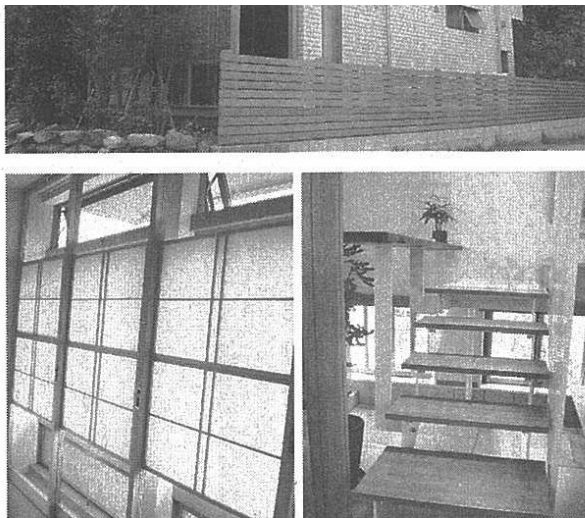
との共同棟
3つ目は
ビレッジを
志地区」(疾
ハセントラ
ター)に上
の仕組み
人寿仁会
樹木も
壁面緑化
竹
竹中工務
つつじ類
の樹木も結
化システム
来はつる結
が中心だ
を個別の結
はなく、結
自由には伸
能にした
ネルその
メント製
性・耐久
この植栽
ら独立し
なため、
問わず専
06年から
験で、植
栽パネル
を確認し
類や施工
るが、価
15万円。二
する物件
く。

戸建て分譲が好調

グループ開発
グリーン
スグリ
ラズ
ポ中央

さいたま市
全99区画
街並みや広さで評価

(上)つくば市に完成したコンセプトハウス(下左)小陣子の開閉パターンを覚えて通風や日射を調節する(下右)移ろ居場所として座るスペースを設けた階段



ボラスグループの中央グリーン開発(中内慶太郎代表)が、埼玉県さいたま市で開発中の大型戸建て分譲住宅「パレットコート浦和緑花未来区」の「写真」の販売が好調だ。



4月18日から販売を始めた第1期56区画のうち、7月末までに52区画が成約済となった。駅からバス便という立地ながら、全棟130㎡以上のゆとりある敷地と、街区ごとにコンセプトを持たせた街並みが評価された。

「緑花未来区」は、JR京浜東北線北浦和駅からバス10分下車徒歩7分に立地

保留地をまとめた形で購入でき、「地権者から『ゆとりある分譲地をつくってほしい』という要望があった」(同社)ことから開発が実現した。

2つ目は、「介護報酬償還」を確保するが、価

見、う明びり曾旧

6%増)、木質系(同1

地域別の販売状況を見る

建て(1万5600戸・同3

9%増)が牽引した。従

協力を

協力を

協力を